

平成24年第1回中津川市教育委員会定例会議事録（要旨）

日 時 平成24年1月18（水） 午後1時30分

場 所 にぎわいプラザ 4-1会議室

出席委員 松田 幸博 田島 雅子 横井 晃

小幡 隆徳 大井 文高

事務職員 山内事務局次長 尾関文化スポーツ部長
松井教育次長兼学校教育課長 原文化振興対策監兼文化振興課長
市岡新図書館対策監 今井教育企画課長
梅本幼児教育課長 和田教育研修所長
幸脇阿木高等学校事務長 鈴木発達支援センター所長
林企画統括主幹 牧野国体推進室長兼スポーツ課長
田口生涯学習課長 小林図書館長
片田新図書館準備室長 松岡東美濃ふれあいセンター所長
丹羽鉦物博物館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教 育 長 報 告
4 議 事
5 閉 会

番 号	議 題	結 果
報第1号	平成24年度中津川市教育委員会の主要事業について	承 認

〔開 会〕

〔議 事〕

【松田委員長】議事に入ります。日程第1報第1号「平成24年度中津川市教育委員会の主要事業について」、説明をお願いします。

【今井教育企画課長】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】ご意見ご質問はありませんか。

【田島委員】1の事業の「教育長への直行便」について、方法と認知度を教えてください。

【今井教育企画課長】ホームページからのメールによるものですが、放射線の不安等から最近月に1回程度は来ています。メールにて回答を返信しています。認知度ははっきりと分かりません。その辺りが課題の残るところです。

【田島委員】こういう取り組みは、大変大事なことです。認知度を上げないといけないですね。

【松田委員長】他にありませんか。

ないようですので、次に学校教育課から説明をお願いします。

【松井学校教育課長】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】この件について、ご意見ご質問をお願いします。

【小幡委員】1の図書館司書の巡回について、3名増員したことによる学校の巡回基準を教えてください。

【松井学校教育課長】中学校区に1人配置、もしくはそれに準ずる形です。小学校と中学校の司書が同じということで、読書計画の一貫性が期待できます。もう一つは、小学校にいた司書が中学にもいることによる子どもの安心感です。

【松田委員長】他にありませんか。

【横井委員】7の学校給食事業ですが、今東京都足立区の給食が注目されています。是非これも取り入れていただきたいと考えています。

【松田委員長】その他にありませんか。

【田島委員】2の小学校能力開発事業で、名古屋市・豊田市(稲武町)とのふれあい協定にもとづく社会見学事業では、小学校全校の5年生が名古屋市科学館、トヨタ自動車等の見学を実施するということですが、ずっと同じ場所ですね。発展的継続というように考えていくべきではないかと思うのですが。

【松井学校教育課長】名古屋市と豊田市のふれあい協定のもと進めている事業です。簡単に変更、見直しは難しい面があります。

【松田委員長】その他にありませんか。

【小幡委員】中学校の選択教科がなくなったということですが、教育委員会の方針「ふるさと意識の醸成」ということで、外部の指導者をお願いしていたと思います。今後はどうなりますか。地域の大事な人たちですから。

【松井学校教育課長】外部講師をいきなりなくすのは難しく、学校によっては総合的な学習の時間の一部を活用していくところもあります。

【松田委員長】その他にありますか。

【田島委員】4の中学校能力開発事業での英語指導助手ALTの方々に関して、もっと個人的に外国人と触れ合う機会を民間団体で作って招いたりしながら輪を広げて、もっと外国の方と英語で話せる環境を考えていただけるとありがたいですが。

【松井学校教育課長】ALTの方々も日本の文化を知りたいと望んでいます。業務外であれば団体等を紹介して、地元の大人も子どもも併せて交流ができればと思っています。

【松田委員長】その他にありますか。

【大井教育長】中学校能力開発事業のサマー・サイエンス・スクールについて、新たに中津川法人会の支援が決まり、今後も様々な組織・団体と連携していきたいと考えています。

【松田委員長】その他にありますか。

私から質問します。中学校では24年度からダンスを取り入れるということですが、どうい
う対応をされますか。

【和田教育研修所長】DVDを研修用に各学校に配布して、質を高めていきたいと考えていま
す。

【松田委員長】フォークダンス、創作ダンス、ヒップホップなどを実施している学校のニュー
スを見ましたが、保健体育の先生の研修も必要になるかもしれませんね。その辺をご配慮いた
だければと思います。

その他にありますか。

ないようですので、次に教育研修所から説明をお願いします。

【和田教育研修所長】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】ご意見ご質問はありませんか。

【田島委員】1の事業の中で教育実践論文に関する諸事業で、3年目と6年目の先生が対象に
なるということですが、どのようなときに対象者の選考基準や論文を作成するのですか。

【和田教育研修所長】今年度は60名超の方が書いています。3年目と6年目は研修を兼ねて
必ず書いてもらうようにしています。教職歴15年と20年の中堅教員の実践論文の質が高ま
っています。時期に関しては、5月から募集をかけて、夏休みや冬休み等で執筆されています。

【松田委員長】その他にありますか。

【横井委員】1の事業のなかで経験年数に応じた研修がうたわれていますが、それは当然重要
ですが、ベテランの中にみられる指導力不足の先生の問題も重要なのでは。そういった先生を
どう指導していくのか、研修会などを開催して対応をお願いしたいのですが。

【和田教育研修所長】委員の指摘のとおりです。少しこちらでも考えていかなければと感じて
います。指導力不足等が気になる先生には管理職が指導しているケースはあります。

【松田委員長】その辺りも子ども達のためですので、ご配慮をお願いします。

他にありませんか。

【横井委員】学校のホームページを全校見させていただき、きっちり更新されているところと
そうでないところがあります。学校行事も含めて保護者への通知が重要です。支援と研修を是

非しっかりお願いします。

【松田委員長】現状が難しいなら、一括して作って紹介ぐらいにとどめるというのも一法かと思えます。

その他にありませんか。

【田島委員】1の学力アッププログラム実行委員会の件です。学校教育課と教育研修所にと同じ項目がありますが。

【和田教育研修所長】学校教育課は印刷製本費をもっており、実際の指導は研修所が行っています。

【小幡委員】移動教育委員会の折、学力アッププログラムそのものを知らない保護者の方が結構いました。学力アッププログラムは確実に家庭の教育力を高めることになるので、校長会と連携を深め学校訪問の折に指導をお願いします。

【大井教育長】幼稚園等訪問の際に、このプログラムを積極的に保護者に働きかけていました。成果を期待しています。

【松田委員長】学力アップは保護者も願っています。息長くお願いします。

他にありませんか。

それでは次に移ります。幼児教育課、お願いします。

【梅本幼児教育課長】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】ご意見ご質問はありませんか。

【田島委員】「かがやきキッズクラブ」の障がい児が通所にとのことですが、「かがやき」というのは今も旧つくしんぼ（旧養護訓練センター）ですか。

【梅本幼児教育課長】そうです。24年度に学童のままでも障がい児の通所施設になっても、今の養訓の跡で継続使用を認める予定です。

【田島委員】耐震されていない場所なので心配ですね。

【松田委員長】他にありませんか。

【田島委員】6の児童館の運営で、児童館には図書が充実しているところもありますが、司書が携わるケースはありますか。

【梅本幼児教育課長】今は幼稚園までで手一杯で、保育園、児童館等には行っていません。ただ、児童館に図書館の本を置いたらどうかという意見もあり、そういった意見を聞きながら行っていきたいと考えています。

【田島委員】子ども達が長時間過ごす場所の本ですから、出来るだけフォローをお願いします。

【梅本幼児教育課長】「安心子ども基金」等を利用して本を補充していますが、予算を確保しながら今後も行っていきたいと考えています。

【松田委員長】他にありませんか。

先日、「子ども・子育て新システム」についてチラシが出ていました。保護者の方も心配だと思います。この辺の対応はどうですか。

【梅本幼児教育課長】昨年12月初旬に、保育園の保護者会で新システムについて話しました。

これから保育士会にも話をする予定です。保護者には不安な部分はきちんと当課が対応していきたい旨をPRして、いたずらに不安を煽ることがないようにと思っています。

【松田委員長】是非よろしくお願いします。その他にありますか。

【田島委員】3の事業での特別支援の必要な園児の認定方法と障がい児保育に係る負担への支援方法の確定について、法人保育園に関わる部分ですが、太鼓の指導の際に感じた事は年々団体行動が出来ない子が増えているようで、先生が支援の必要な子のフォローに追われています。障がい児支援の加配をしっかりと、支援の必要のない子もしっかりサポートしてあげてください。

【梅本幼児教育課長】今でも手帳等を所持する子どもの補助はあり、それで運用もしていますが、グレーゾーンの子どもや保護者の認識不足等で、そういった子どもにどう対応するか考えているところです。予算に限りはありますが、できるだけ手厚くしていきたいと考えています。

【松田委員長】その他にありますか。

ないようですので、ここで10分間休憩します。

〔休憩〕

【松田委員長】再開します。阿木高等学校、お願いします。

【幸協阿木高等学校事務長】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】ご意見ご質問はありませんか。

【田島委員】12月のシクラメン祭りに出店していましたが、六斎市や中山道祭りにも出店していますか。

【幸協阿木高校事務長】六斎市は5月から10月まで出しています。他には、にぎわい特産館でジャムを販売しています。

【田島委員】中津川市立で唯一の高校です。多くの方に知っていただきたいです。これからもよろしくお願いします。

【松田委員長】その他にありますか。

【小幡委員】今、四修制の選択者が増えているとのことですが、何か理由があるのですか。

【幸協阿木高校事務長】基本は四修制です。三修制を希望する生徒は別に試験を行い認定していますが、成績だけではないようで、なぜ三修制を希望する生徒が減ったのか理由は分かりません。

【松田委員長】他にどうでしょうか。

【横井委員】阿木高校の耐震性は、どのような状況か説明をいただけますか。

【幸協阿木高校事務長】現在、計画として25年度設計、26年度改修の予定です。

【山内事務局次長】補足ですが、どのように耐震化等をあげるのか、前市長のところまで止まっています。新市長のもとできれば26年度でいきたいと思っています。

【松田委員長】

他にありませんか。

ないようなので、発達支援センターからお願いします。

【鈴木発達支援センター長】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】ご意見ご質問はありませんか。

【田島委員】市内の幼稚園・保育園から支援の有無について、相談等受けていると思いますが、相談は満遍なく（偏りなく）あがってきていますか。

【鈴木発達支援センター長】ここでの相談は、センターに通っている障がい児等からで、基本的に発達相談室の希望に応じて行っています。訪問指導等はニーズに応じて行くという形です。発達相談室では、臨床心理士による発達検査、心理状態という面での指導が主になっています。

【山内事務局次長】本日、発達相談室長が欠席しておりますので、代わりに私がお答えしますが、幼稚園、保育園の訪問回数は、22年度は60園を回って230人の相談を受けています。23年11月末まででは、49園を回って200人の相談を受けています。全園を回っていません。

【松田委員長】その他どうでしょうか。それでは、発達相談室からお願いします。

【鈴木発達支援センター長】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】ご意見ご質問はありませんか。

ないようですので、次に生涯学習課からお願いします。

【田口生涯学習課】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】ご意見ご質問はありませんか。

【横井委員】前市長との話の中で地域の関わりも大切だということで、PTCAという言葉で地域と学校も連携を進めてほしい、組織化して欲しい旨ありましたが、青少年健全育成協議会等が一番適している旨話をさせていただきました。是非PTAとのかかわりを持って進めていただきたいと思います。

【田口生涯学習課長】今のご意見を十分踏まえて事業を展開させていきたいと思います。

【松田委員長】他にありませんか。

【田島委員】1の地域づくり型生涯学習の推進の中で、子育てに関する事業が手厚くなされ有りがたく思いますが、このような事業に参加しない孤立した保護者の方も多くいるのではないかと推測されます。そういう孤立した方々のケアについて、何か考えていますか。

【田口生涯学習課長】委員の指摘された点は大変重要です。子育てサポーターの養成講座の中でも声かけをお願いしています。当課でも関係課と連携を取り進めていくように努めているところです。

【松田委員長】その他にありませんか。

3の交流事業の推進の中での市民国際交流事業ですが、予算的には厳しいのでしょうか。

【生涯学習課長】予算は非常に厳しいですが、文化スポーツ部としてはこれまで同様に内容は見直して続けていきたいと考えております。

【田島委員】2の読書活動の推進は図書館と重複しているようですが、図書館に統一してということにはならないのでしょうか。

【生涯学習課長】現在、生涯学習課に読書推進係が置いてあり、読書推進活動を図書館と準備

室と連携しながら行っています。将来的には図書館一本と思いますが、今の図書館の体制では読書推進活動が十分出来ないとの認識のもと現行の体制になっています。

【尾関文化スポーツ部長】補足ですが、生涯学習課に読書活動推進係ができたのが2年前です。現在の中央図書館への配置もありましたが、当時の職員体制では現実の図書館運営に力点が置かれ企画が難しくなるという判断がありました。ただし、図書館と連携して組み立てて実施しています。新図書館完成時には、読書活動推進係も新図書館へ配置して企画部門を担っていく構想です。

【松田委員長】その他にありますか。

ないようですので、次に中央図書館、新図書館準備室からお願いします。

【市岡新図書館対策監】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】この件も選挙に左右されますが、教育委員会は図書館建設推進の立場で話を進めていきます。ご意見ご質問はありませんか。

【横井委員】言葉の問題で、私の個人的な感想になるかもしれませんが、5の事業の中の「郷土資料の積極的収集と整理」という言葉があります。今、整理という言葉が人員整理に代表される捨てる意味を持っていますよね。誤解を招かない言葉の使用をお願いします。

【松田委員長】他にありませんか。

【田島委員】2の事業の中のボランティアについて、最近ボランティアの方々が活動を始められたそうですが、恵那市や土岐市ではボランティアの窓口が一つです。中津川市はどうですか。

【市岡新図書館対策監】現在、ボランティアに対する窓口は図書館とはいうものの、子育てサポーターや読み聞かせなどのボランティアは生涯学習課にと分かれているのは否定できません。ただ、それは過渡期としての姿で新図書館が建設されると図書館に集約されると思います。

【田島委員】ボランティアの方の意欲は高いです。ボランティアの方々の気持ちを削がないしっかりしたシステムを作っていただきたいと思います。

【松田委員長】その他にご意見ご質問はありませんか。

【田島委員】公民館図書室のことですが、あまり充実してなく24年度には力を入れるとのことですが、利用者への利便性・利用頻度等を早く把握して、各公民館図書室があるために中央図書館があるという考え方で進めていけば、公民館図書室の利用者も喜ばれると思います。

【市岡新図書館対策監】地域ごとに新図書館建設の説明会を実施したときに、公民館図書室の充実要望が強く、また地域では中央図書館より地元公民館図書室の利用が中心でしたので、その充実があってこそ中央図書館という考えは、今まさに委員の言われたとおりです。もう一つが、公民館図書室のない旧市の公民館への図書室設置要望があがっています。今あるものの充実と新設の必要性を感じています。今年度も整備を行っていますが、24年度はさらに充実させていきたいです。

【大井教育長】公民館図書室の充実と新図書館建設とをペアで考えると、ハードを同様に整備するしかないという視点到ります。マンパワーの充実やソフト面を充実させないと物だけ造った満足感で終わってしまう恐れがあります。公民館の活動の発展と併せながらマンパワーを

充実しないと本当ではないと思います。

【松田委員長】図書館は「箱物ではなくソフトである」という認識のもと、公民館図書室も充実させていくことを発信していく必要もあります。他にありませんか。

ないようですので、それでは次に文化振興課からお願いします。

【原文化振興課長】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】ご意見ご質問はありませんか。

【横井委員】1の事業の中でタイトルが「in なかつ川」と「ひらがな」表記になっていますが、なにか意図や理由があれば教えてください。

【原文化振興課長】過去3回とも「ひらがな」表記でしたが、中津川はインパクトのある題名にしようとする漢字だと固いという事で「ひらがな」を使う傾向があります。仮称ですから、これから良いタイトルを考えていきます。

【松田委員長】他ご意見ご質問ありませんか。

【田島委員】青邨記念館が閉館して2年になりますが、前田青邨は島崎藤村と同様に全国的に有名ですので、青邨との関わりについて現状を教えてください。

【原文化振興課長】今後のあり方については、前田青邨を大きな文化資源として活用していきたいと考えています。現在のところ再開、再整備等も含めて市民の意見を聞きながら、実施していきたいということで24年度は計画を練る予定です。また、絵画の展示を苗木遠山史料館で実施していますし、新図書館完成時には1階の展示室で前田青邨も含めて郷土の先人等の業績を発信していく取り組みを進める予定です。

【松田委員長】他にありませんか。

ないようですので、国体推進室、スポーツ課からお願いします。

【牧野国体推進室長兼スポーツ課長】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】ご意見ご質問はありませんか。

【田島委員】長い努力の末の24年度のひのき舞台ですね。以前に移動教育委員会の折にぎふ清流国体について知らない方がいました。広報はしっかりされているのですか。

【牧野国体推進室長】地域総合事務所、公民館等にはポスターを掲示して、ホームページでも広報しておりますが、これから本番に向けPRや看板類の設置等どんどん進めていきたいと考えています。

【横井委員】3の中での心のプロジェクト事業ですが、最初に川渕日本サッカー協会名誉会長に来ていただいて非常に良い事業だと感じっていますが、24年度もまた同様な規模で実施するのですか。

【牧野国体推進室長】24年度も同様に小学校5年生全部を対象に実施します。アンケートなどからも非常に好評です。

【松田委員長】他にありませんか。

【小幡委員】6のサポーターポイント制度が始まり、数年を経て具体的にどのように広がってきていますか。

【牧野国体推進室長】これはスポーツ施設に限らず文化施設、公民館等でも実施しています。現在のところスポーツ施設ではまだ運用が若干なされていないところもあり、主に公民館、文化施設、特に博物館で活用がなされています。この辺もまた広げていきたいと考えています。

【尾関文化スポーツ部長】補足ですが、スポーツ課長が述べたようにスポーツ施設の利用はなによりに等しいですが、博物館で各種行事への協力を利用されています。加子母などでは老人会がグラウンド使用料の代わりに、自分たちで草刈り等をしてポイントをため、利用しているケースもあります。

【田島委員】今のサポーターポイントですが、例えば映画上映の際に受付をやってもらいポイントが付くようなものですね。何かたくさん投げかけを作っていただけるとありがたいと思います。

【松田委員長】他にありませんか。

ないようですので次に鉱物博物館からお願いします。

【丹羽鉱物博物館長】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】ご意見ご質問はありませんか。

【田島委員】鉱物博物館がなぜ苗木にあるかを中津川市民は鉱物マニアでない限りご存じないのでは。PRの中で「郷土の誇り」の一つのように考えて観光資源でもありますので、もっと発展させてください。

【丹羽鉱物博物館長】市外からホームページを見てマニアの方が多く来館します。無料デー等のイベント時には市内にPRが行き届くよう広報紙だけでなく、学校等へもチラシを配布しています。また、地域の方が興味を持つ企画を実施すると参加者が増加しますので、地元を含めPRをしていきたいと考えています。

【松田委員長】他にありませんか。

【大井教育長】博物館協議会で協議していますが、ここに協議会でのアイデアを取り入れたものはありますか。鉱物は硬いから全く違うものを企画展で実施するなど。文化層も引き込むとか。

【丹羽鉱物博物館長】PR不足を協議会でも指摘されます。今まで中津川市内の小中学校だけで教室等の案内をしていましたが、恵那市でもPRするようにしました。また、ホームページで見て埼玉や兵庫といった遠方から教室に参加する方もあり、少しでも拡充していきたいと思えます。

【松田委員長】他にありませんか。

確かBSジャパンで池上彰さんの連続講座があります。博物館関係や新図書館が出来たらメジャーな方に講座を依頼すれば、なぜ苗木に鉱物博物館があるか、遠山家の歴史とは等を併せてPRできると思いますが。予算的に難しいかもしれませんが、他はよろしいでしょうか。

それでは、最後に東美濃ふれあいセンターからお願いします。

【松岡東美濃ふれあいセンター長】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】ご意見ご質問ございましたらお願いいたします。

【田島委員】公民館には公民館友の会がありボランティアも行われていますが、ふれあいセンターにはありますか。

【松岡東美濃ふれあいセンター長】以前はありましたが、今は休止しています。

【田島委員】中津川に来る歌手や芸術を恵那と比べると、恵那だと行きたいという方が周りには多いです。要因はいろいろあると思いますが、市内の文化施設すべてをまとめたような友の会的なものがあれば人が来てくれる演劇を発掘出来たりして、いろいろなケアをすることで文化的に素敵なものが開催されるように多くの市民が利用してくれるようになると思うのですが。

【松岡東美濃ふれあいセンター長】有名な芸能人の場合、2年ぐらい前から予約しないといけません。予算確保ができないとアプローチできない面があります。定期的に続ければある程度来ていただけます。その辺の取り組みは研究の余地があります。

【横井委員】実際に文化会館を利用して芸能人を呼んでと考えると採算が合いません。900人、1000人に満たないところで2回公演をやっても合わない。もうちょっと大きなところがあればよいのですが。私がお願いしたいのは、もっと柔軟に施設の利用方法を考える事だと思います。以前、市民球場のバックネットにスクリーンを張って映画会をやりましたが、実際に野球をやらない子も野球場で寝転んで映画を観てとても楽しんでいました。そういう発想を是非文化スポーツとして実施できるとよいですね。ぜひそんな企画もお願いしたいです。

【松田委員長】他にどうでしょうか。

では、全体を通してもう一度何かお聞きしたいことがございましたら。

【田島委員】24年度の大体の方向が決まるわけですが、市長が替わっても替わらなくても、子どもたちがおり市民の皆さんが活動するわけです。どなたが市長になろうとも教育委員会は市の行政と分離したところにあるわけですから、がんばって皆さんと共に市民、子どもたちのためにがんばりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【松田委員長】それでは、議第1号「平成24年度中津川市教育委員会主要事業について」は、承認とさせていただきます。

これをもちまして平成24年第1回中津川市教育委員会を閉会いたします。

〔閉 会〕